

2009年4月から2020年12月までにEGFRチロシンキナーゼ阻害剤による治療を受けた診断時75歳以上の方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

●研究の名称

75歳以上のEGFR遺伝子変異陽性肺癌患者へのEGFRチロシンキナーゼ阻害剤の使用状況に関する複数施設観察研究

●研究の対象

2009年4月1日から2020年12月31日に当院へ通院し、EGFRチロシンキナーゼ阻害剤の投与を受けた診断時年齢75歳以上の肺癌患者さん

●研究期間

研究許可日から2025年3月31日まで

●研究の目的

肺癌の患者数は年々増加傾向にあり、日本における癌の死因の中でも1位を占めるようになりました。肺癌の中でもEGFR遺伝子変異が陽性の肺癌患者さんに対する治療では、EGFRチロシンキナーゼ阻害剤が有効であることが分かっておりますが、75歳以上の高齢患者さんにおいては、EGFR遺伝子変異が陽性であっても、どのEGFRチロシンキナーゼ阻害剤が安全に使用でき、かつ有効であるのか十分に研究されていません。我々は、2020年に当院へ通院する診断時年齢が75歳以上のEGFR遺伝子変異陽性肺癌患者に対するEGFRチロシンキナーゼ阻害剤の投与状況を調査しましたところ、チロシンキナーゼ阻害剤の薬剤ごとに、治療効果や副作用の発生頻度は大きく異なる可能性があることを見出しました。この結果が、他の医療機関へ通院する75歳以上の患者さんでも同様であるかを検証するため、このたび、日本大学医学部附属板橋病院呼吸器内科と共同研究を行うことといたしました。

●研究の方法

通常の診療の中で得られる診療情報や臨床検査の情報を、個人を特定できない形で収集させていただきます。

●研究に使用する試料・情報

年齢、性別、各種血液データ、画像所見（X線、CT検査等）、病理診断やEGFR遺伝子変異

検査、診断後の経過、治療内容、転帰など

●資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、ほかの研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧できません。

●お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

呼吸器内科 石橋昌幸

連絡先：03-3964-1141(平日 9:00～17:00)